

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2005-185818(P2005-185818A)

【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2004-187869(P2004-187869)

【国際特許分類】

A 61 B 5/05 (2006.01)

【F I】

A 61 B 5/05 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動物の体脂肪を測定する体脂肪測定装置であって、
個体情報を入力する個体情報入力手段と、
生体インピーダンスを測定し入力する生体インピーダンス入力手段と、
胴周囲径及び体長に関する形態計測値を入力する形態計測値入力手段と、
前記生体インピーダンスに基づいて体脂肪率を演算するインピーダンス演算手段と、
前記胴周囲径及び体長に関する形態計測値に基づいて体脂肪率を演算する形態計測値演算手段と、
前記生体インピーダンスが適正かどうか判定し、前記判定に基づいて、前記インピーダンス演算手段と前記形態計測値演算手段とを自動で切り替える演算切替手段とを有する体脂肪測定装置。

【請求項2】

前記生体インピーダンス入力手段は、体幹部に接触させる体幹部接触電極と、足裏に接触させる足裏接触電極との内、少なくとも一方を有することを特徴とする請求項1記載の体脂肪測定装置。

【請求項3】

前記生体インピーダンス入力手段は、体幹部に接触させる体幹部接触電極と、足裏に接触させる足裏接触電極とを有し、前記体幹部接触電極と足裏接触電極とを自動で切り替える電極切替手段を更に有することを特徴とする請求項2記載の体脂肪測定装置。

【請求項4】

前記生体インピーダンス入力手段は、動物の四肢の足裏を各々所定の前記足裏接触電極に接触させるための補助部材を設けて成ることを特徴とする請求項2又は3記載の体脂肪測定装置。

【請求項5】

前記演算切替え手段は、体幹部接触電極を用いて測定した生体インピーダンスに基づくインピーダンス演算手段による体脂肪率の演算、足裏接触電極を用いて測定した生体インピーダンスに基づくインピーダンス演算手段による体脂肪率の演算、及び形態計測値演算手段による体脂肪率の演算を、精度の高いものから順次切り替えることを特徴とする請求項3に記載の体脂肪測定装置。